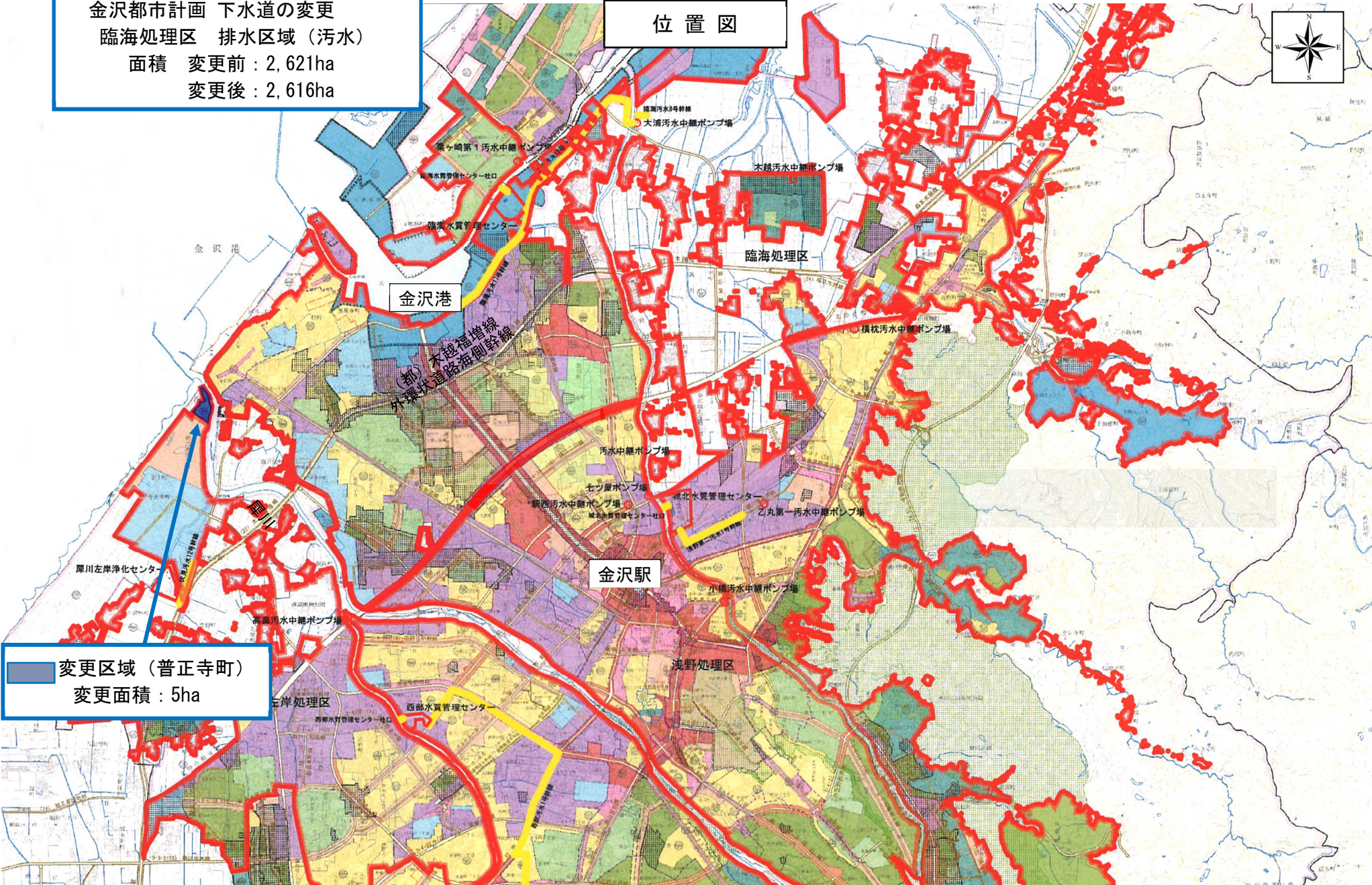


金沢都市計画下水道の変更（金沢市決定）

金沢都市計画 下水道の変更
 臨海処理区 排水区域（污水）
 面積 変更前：2,621ha
 変更後：2,616ha

位置図



金沢都市計画下水道の変更（金沢市決定）

金沢都市計画金沢市公共下水道（臨海処理区）「3-2.排水区域」を次のように変更する。

上段朱書きは変更前

(1) 下水道の名称 金沢市公共下水道（臨海処理区）

3-2. 排水区域 「排水区域は、総括図表示のとおり」

約 2,621 h a

約 2,621 h a

(備考) 面積 (汚水) 約 2,616 h a (うち処理区域 約 2,616 h a)

(雨水) 約 2,758 h a

理 由

金沢市の公共下水道は、公共用水域の水質保全を図るため計画し、整備を進めてきた。しかし、近年の社会情勢の変化により、汚水処理施設未整備区域については、地域の実情等を踏まえ、持続可能かつ効率的な汚水処理施設を整備するため、見直しを行っている。

普正寺地区は、昭和 62 年に下水道区域として都市計画決定以降、長年未整備となっている区域である。河川改修による区域の縮小や人口が減少傾向にあること、また既に浄化槽による整備が進んでいること等を踏まえ、下水道排水区域（汚水）を削除し、汚水処理方式を集合処理（公共下水道）から個別処理（合併処理浄化槽）変更することとし、効率的かつ効果的に公共用水域の水質保全を図る。

なお、削除区域においては、引き続き浸水対策が必要であることから雨水区域の削除は行わないこととする。